



しよ ろ がく えん
庶 路 学 園

開 校／平成30年4月1日
所在地／白糠町西庶路学園通1丁目1番地
TEL (01547)5-8255 FAX 5-8257

学校長／齋 藤 超

副校長／村 瀬 清 史

教 頭／山 館 孝 志

◆学校の教育目標

- 自ら考え行動する子
- 他を思いやり共に成長する子
- 心身共にたくましい子

《15歳の子ども像》

「進むべき道を自ら描き、仲間と関わりながら努力を続ける人」

◆特色ある教育活動

① 白糠に誇りを持たせる「ふるさとキャリア教育」の推進

白糠町の教育の基軸である「ふるさと教育」を推進するため、町内の様々な素材を教材に取り上げるとともに、地域の人材を有効活用しながら学習を進め、地域に誇りや愛着心、帰属感を持った児童生徒を育てる。また、社会で生き抜く力を育てるためのキャリア教育（汎用的能力も含む）を意識した教育課程を推進する。

② 9年間の成長を見据えた一貫性のある指導

「学びのスタンダード」「生活のスタンダード」などをもとに9年間、全教職員が共同歩調で一貫した教育を行い、実効性のある指導を行う。

③ 保護者・地域とともにある学校づくり

学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合う「学校運営協議会」の設置を通して、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、保護者・地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）を進める。

④ きめ細かく専門的な教科指導の充実

4-3-2制の中期（中等部）から原則として教科担任制を導入する他、習熟度別指導やティーム・ティーチングの実施など、きめ細かく専門的な指導の充実を図る。

⑤ 世界での活躍を目指す外国語教育・情報教育の充実

小学校1年生段階から外国語教育（英語・中国語＝ECタイム）を実施し、世界に通用するコミュニケーション能力の育成を目指す。また、子どもたちの理解を促すためにICT機器を取り入れた指導を積極的に行うとともに、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成、プログラミング教育を各教科、総合的な学習の時間を中心に実施し、情報教育を積極的に推進する。

⑥ 異年齢集団との意図的・計画的な交流

7歳から15歳までの児童生徒が1つの空間で学ぶことに加え、校舎には認定こども園が併設されていることから園児との交流やブロック間交流、異学年間交流など、異年齢集団で学場を意図的・計画的に設定し、交流の場を充実させ、体験を通して他とのコミュニケーション能力を育成する。

⑦ 万が一の事態に備えた防災教育の充実

校舎が地域の防災拠点となることを踏まえ、児童生徒には系統的な防災教育を行うとともに、7年生において、地域との協働による防災宿泊訓練を実施する。また、教職員には災害時の対応（避難施設になった場合の対応訓練を含む）に係る研修を行う。



「飛翔の丘」に建つ庶路学園



飛翔の集会（9年生卒業論文発表会）



こども園との交流（1年生）

異学年で取り組む
学園祭 →

